

よろず支援拠点だより <80>

大切なのは難しいことに挑戦すること

わかやま新報の読者の皆さま、
こんにちは！

和歌山県よろず支援拠点チーフ

コーディネーターの鶴田です。事業において難しいことにチャレンジすることは大切です。簡単にできる仕事は、より安価な同業他社に奪われていきます。だから企業は今できることをやっていても存続できません。「今はまだできないことをできるようにするチャレンジ」が求められます。今回紹介する大瀧商店さまはそのようなチャレンジを通して、リサイクル業界のリーディングカンパニーへの道を切り開いている会社です。

ホームページからは普通の廃棄物収集・処理事業者かなという印象を受けました。しかし、大瀧吉宏社長から主力商品であるフォー

ミング抑制剤の開発経緯を伺ううちに実際の姿は全然違ふことに気が付きました。

フォーミング抑制剤とは製鉄所の高炉で溶けた鉄の中に投入する添加物です。水が沸騰して鍋から吹きこぼれるみたいに、1500度前後の溶けた鉄も泡立って炉から吹きこぼれることがあり、それを防ぐために投入されます。フォーミング抑制剤には、泡の成分である一酸化炭素を破壊する成分を含んでいること、泡に沈み込む比重、環境に悪影響のある重金属類が含まれていないことが求められます。

そして大瀧商店ではこのフォーミング抑制剤をこれまで廃棄処分されていた粉体塗料というものからリサイクルする技術確立しました。出来上がった製品は、既存

製品よりも高品質であったため製鉄所に採用され、毎月500ト以上の廃棄物が価値ある商品に生まれ変わり、使用されています。

このような大瀧社長ですが、元々化学の知識をお持ちであった訳ではありません。製鉄所のエンジニアから教わったことを持ち帰っては調べるということを繰り返して学び、可能性のある材料を模索して、ついに粉体塗料をフォーミング抑制剤に加工する技術確立されたとのこと。

粉体塗料の排出事業者にとっては今まではより安く処分でき、処分が困難だった大量の廃棄物を捨てずに活用して自社の売り上げを増加させる、これはまさに「リサイクルテクノロジーカンパニー」だと感じました。大瀧商店が目指すのは、廃棄物の埋め立て処分・廃棄処分ゼロです。

他にもさまざまなリサイクル技

術開発に挑んでおり、よろずでは研究開発のための補助金の提案などで支援しています。

そんな大瀧商店ですが、今年から新卒採用を開始し、中途採用も強化しています。リサイクル業界で前例のない仕事にチャレンジしたい方は是非ご応募していただきたいと思っています。

和歌山県よろず支援拠点
和歌山市本町二丁目1番地
フォルテワジマ6階
URL <http://yorozu.yarukiouendan.or.jp/>
TEL 073・433・3100

